

年	沿革
1976年	アメリカ カリフォルニアで車いすテニスが始まる。
1982年	車いすテニスが神奈川県・大阪市・福岡県飯塚市で紹介される。 国際障害者レジャー・レクリエーション・スポーツ大会(於:愛知県蒲郡市)で外国選手と対抗試合。
1983年	脊髄専門病院・総合せき損センター(飯塚市)の体育館において車いすテニスの練習が始まる。
1984年	九州車いすテニスクラブ設立 (会長:角田信昭)
1985年	4月12日～14日 飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニスクラブ、飯塚ロータリークラブ) ・日本で初めての車いすテニス・クリニックを開催
1986年	九州車いすテニス協会を設立(会長:麻生 泰)(日本初の車いすテニス協会) 5月23日～25日 第2回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会、以後同協会が主催となる)
1990年	5月23日～27日 第6回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会) ・世界ランキング認定大会に指定される。 全国身体障害者スポーツ大会(福岡国体)で車いすテニスが公開競技種目となる。
1992年	筑豊ハイツに車いすトイレと車いすで使えるシャワー室が完成
1994年	5月25日～29日 第10回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会) ・10回記念事業として、フォーラム、コンサート、テニス・クリニックを開催 ・10回記念事業としてテニス・キャンプを開催(目的:アジアの車いすテニスの技術向上と車いすテニス指導者の育成)
2002年	5月15日～19日 第18回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会) ・日本人初の快拳 斎田悟司選手優勝 ・ジョン・グリア選手(米)クリスティン選手(英) 筑豊ハイツにて挙式 ・飯塚国際車いすテニス大会創設者の一人、星野治氏(51歳)逝去
2003年	2月 西日本スポーツ賞(体育功労賞) 受賞
2004年	1月 特定非営利活動法人承認される。NPO法人九州車いすテニス協会として新スタート(理事長:麻生泰) 5月11日～16日 第20回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会) ・スーパーシリーズに昇格 11月 角田信昭氏(前大会実行委員長)ソロプチミスト財団社会ボランティア賞受賞
2006年	飯塚国際車いすテニス大会サポーターズクラブ導入 5月16日～21日 第22回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会) ・男子シングルスで、国枝慎吾選手が初優勝
2009年	5月8日 25周年記念シンポジウム開催 5月19日～24日 第25回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会) ・決勝戦をインターネットで生中継
2013年	5月29日～6月2日 第29回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会) ・女子シングルスで、上地結衣選手が初優勝
2014年	5月13日～18日 第30回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会) ・30周年記念シンポジウムを開催 ・男子シングルスで国枝慎吾選手、女子シングルスで上地結衣選手が優勝
2016年	3月 九州車いすテニス協会 福岡県知事賞 受賞(車いすテニスの普及・振興等) 5月17日～22日 第32回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会) 10月 九州車いすテニス協会 文部科学大臣賞 受賞(スポーツの普及・振興)
2017年	4月 まんが「スポーツで地域活性化 Vol.10 Japan Open 飯塚国際車いすテニス大会」発行 5月16日～21日 第33回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会) ・男女シングルス決勝戦の様子がスカパーで生放送される。
2018年	3月 飯塚国際車いすテニス大会に天皇杯・皇后杯が下賜される。 5月14日～19日 第34回飯塚国際車いすテニス大会開催(主催:九州車いすテニス協会・日本車いすテニス協会) 11月 『飯塚国際車いすテニス大会を基軸としたテニスのまちづくり』事業が飯塚市企業版ふるさと納税の対象事業となる。 11月 外務省日本文化紹介のウェブサイト「Japan Video Topics」でJapan Openが取り上げられ、7か国語で世界発信。